

パラオはアジアを始め、世界中のダイバーの憧れのダイビングエリア。
大物や地形を楽しむなら、ブルーコーナーやブルーホール、
ジャーマンチャネル。また、マクロの生物を楽しむにはマリンレイクと
ダイバーなら一度は経験したい最高のポイントが揃っている。
そんな素晴らしいポイント陣のなか、取り分け異彩を放ちつつ、
ある特定の人にこよなく愛されるポイントがある。
それは「ジェリーフィッシュレイク」。
数百万匹とも言われるタコクラゲが漂う水の中は、
パラオの青い海とはまた違った空間が広がっている。

パラオに漂う 「海月」

写真と文=鍵井 靖章

寒天質性のクラゲの身体、青い海に透けてまるで「海の月」のようだ

パラオに漂う「海月」
Palau Jellyfish Lake

Web-lue 2005. Summer

 **Information Link**  情報HPへジャンプ
<http://www.daydream.to/palau/>



ここが、ジェリーフィッシュレイクのエントリー場。たくさんの人で賑わう



エントリー場付近は、まだクラゲが見当たらず、ただ木漏れ日が美しい



ロックアイランドの内湾の美しい景観



パラオの青い海が広がる(上)
ランチのハンバーガー、これもまた美味しい!(左)

静かな入り江にある ジェリーフィッシュ レイク

「ジェリーフィッシュレイク」はダイビングポイントではなく、スノーケリングで楽しむ場所。無人島到着後、スノーケリングセットを片手に急な坂道を含め約10分ほど歩かなければならない。サイバンのグロットと同じでお気に入りの場所に辿り着くには少し体力が必要。木で作られたエントリー場から湖を見渡す。別段何も不思議な様子はなく、ただ静かな入り江にたくさんのスノーケラーが集まっている。

エントリーして湖の中央へ水面移動していく、エントリー場付近にはタコクラゲはいない。マスク越しに水面を見上げると湖面に映る木漏れ日が美しかった。

パラオに漂う「海月」
Palau Jellyfish Lake

Web-lue 2005. Summer

 **Information Link** <http://www.daydream.to/palau/> click! 情報HPへジャンプ



木漏れ日の下に密集していたタコクラゲの集団。日常では考えられない不思議な世界に夢中になる



他の場所にあるジェリーフィッシュレイクでは足の付いた個体ばかりいた

パラオで「宇宙」を感じる場所は？

フィンキックでどんどん進んでいくと、無数のタコクラゲが集まってくる。そしてあっという間に数百万匹という彼らに包まれている。僕にとってこの空間はロタホルの光の柱と同じで海の中で「宇宙」を感じられるお気に入り場所。実はパラオで一番好きな場所はこの「ジェリーフィッシュレイク」なのだ……。

ここにいるタコクラゲは、外敵がないため毒性は極めて低いので安心。身体に褐虫藻という藻の一種を飼っており、そこから養分を分けてもらっている。そのため体はクリームイエローのような輝く色で、この藻類に一種が太陽光で光合成し、エネルギーを作り出している。

ある女性ダイバーに、このジェリーフィッシュレイクのことを聞くと、「大嫌い！、マスクの間近までやって来て気持ち悪い。顔に張り付く感じがイヤ」だと完全拒否。越智カメラマンは「絶対にウェットスーツは脱いだほうが良い。水着だけで泳ぐと、体にクラゲがボンボンと当たって気持ちイイ！ウィダーインゼリーの中で泳いでいるようで、クラゲを意味もなく抱きしめちゃう！」とのこと。意見と嗜好は様々。

パラオに漂う「海月」
Palau Jellyfish Lake

Web-lue 2005. Summer

 **Information Link**  情報HPへジャンプ
<http://www.daydream.to/palau/>



クラゲを 越えると 極楽浄土？

パラオのデイドリーム秋野大さんに「ジェリーフィッシュレイク」について聞いてみました。

「僕の興味があるのは、湖の縁に生息しているストロビアというクラゲの成長段階のひとつです。まず、受精卵からプラヌラになり、プラヌラが岩などに触れると、特殊な物質を出して着床し、触手を伸ばしポリプになる。その後、イソギンチャクのような形をしたストロビアという段階になるのですが、それは水中

でも見るができます。今度、是非見つけてみて下さい。ストロビアは生命の根源のひとつです。数年前にエルニーニョ現象による水温上昇でクラゲが一時全滅したのですが、現在は以前のように元通りになっています。遠い昔から、何度も繰り返された環境の変化に適応して来たストロビアという段階に、生命の逞しさを感じます。

また、以前、ジェリーフィッシュレイクでのダイビ

ングを試みたことがあるのですが、クラゲの層を超えて、水深15mくらいまでは赤いもやもやとした水で、水深18mくらいから硫化水素。その下は何にもいな極楽浄土でした。潜水後、ウエットスーツを脱ぐと、肌が硫化水素の匂いがするんです。専門家の方に聞いたら、潜水はオススメしないとのことでした(笑)」

湖をスノーケリングで泳ぐと、クラゲがとても集まっている場所がいくつかあることに気付く。多いところでは視界までも遮られる

パラオに漂う「海月」
Palau Jellyfish Lake

Web-lue 2005. Summer

 **Information Link**  情報HPへジャンプ
<http://www.daydream.to/palau/>



上空から見たロックアイランド。この中にジェリーフィッシュレイクを見つけることができる

ロックアイランドに 囲まれた塩水湖

パラオの特徴的な島々ロックアイランドを上空から眺める。コロール島からペリリュウ島にかけての環礁内に散らばるその約200の島々。緑で覆われたその島々は石灰質で出来、長年の潮流により侵食され、マッシュルームのような面白い形に変化していった。



森の下はクラゲの世界、なんて不思議な空間なのだろう

そのロックアイランドに囲まれた塩水湖の一つが「ジェリーフィッシュレイク」(クラゲの湖)である。大昔の地殻変動により形成された大きな湖は、外海と遮断されるように森の中にひっそりと存在している。

パラオに漂う「海月」
Palau Jellyfish Lake

Web-lue 2005. Summer

 **Information Link**  情報HPへジャンプ
<http://www.daydream.to/palau/>